

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和元年5月28日(火)

14:05～14:50 (5校時)

15:00～15:45 (6校時)

場 所：出雲市立みなみ小学校

5校時：理科室

6校時：体育館

対象者：6年生23名

指導者：古代出雲歴史博物館員2名

6年担任2名

1. 主題（主題名）

奈良時代の乙立、朝山周辺と律令社会 —通貨の発行と大仏造立—

2. ねらい

- ・地域を素材とした歴史学習を通し、歴史・文化財に対する興味・関心を高める。
- ・「和同開珎」作りを通して、通貨の意義と鑄造技術について学ぶ。
- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、それに込められた人々の思いに触れる。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援及び留意点
14:05 (3分)	①学習の流れを確認する。	・講師の紹介をする。 ・学習の内容やねらいを説明する。
14:08 (17分)	②乙立町、朝山町(所原町)の歴史を学ぶ。 ・みなみ小周辺の遺跡の分布 ・古代の人々が使った道具	・みなみ小学校(旧乙立小・旧朝山小)校区の遺跡分布図を提示し、縄文時代から江戸時代にかけて様々な遺跡があったことを知る。 ・本物の遺物や復元品を見たり、触ったりしながら、古代人の生活を想像させる。
14:25 (25分)	③和同開珎について、鑄造体験を通して学ぶ。 ・鑄造技術 ・お金の歴史	・和同開珎作りセットを活用する。 ・金属が固まるまでの時間を利用して、お金の歴史について学ぶ。
15:00 (40分)	④奈良の大仏について、その巨大さを体験を通して学ぶ。 ・大仏の大きさの実感 ・独特な仏像の作風	・奈良の大仏の実物大パネルを活用する。 (1m四方の部品を組み立て、18mの大仏を完成させる。) ・質疑応答の質問形式で進行する。
15:40 (5分)	⑤学習のまとめをする。	・感想発表をする。

- ## 4. 準備物（学校・児童）
- プロジェクター・スクリーン・パソコン・筆記用具・軍手・新聞紙
机の上の敷物、ブルーシート、タオル